

## 横浜市アマチュア無線非常通信協力会 理事会議事録

日 時：平成 22 年 11 月 14 日(日) 午後 2 時～4 時

場 所：県民センター R712

出席理事：斎藤・片山・鈴木・川畑・日暮・松永・小野・日置（欠席：半田・木村）

出席監事：宇田川（欠席：薄井）

出席顧問：なし（欠席：野村・鈴木）

冒頭、議長は松永理事が、議事録作成係は日置理事がそれぞれ務める旨の確認がなされた後、議長の進行により議事が開始した。

### <議 題>

#### 1. 横浜防災フェア・九都県市合同防災訓練への参加について

担当の川畑理事より、横浜防災フェアについて、今回は港北支部に担当していただいた、2 日とも大変いい天気のため暑さ対策が大変であったとの報告があった。また、斎藤会長より、本部からも何名か参加した、舞台でのブース紹介は当協力が一番最初であり、港北支部長が立派なPRをされていたとの報告があった。また、日置理事より、主催者側が用意した案内板や看板などには「--- 港北支部」と記載されており、当協力はではなく港北支部が出展していると勘違いされる可能性があることが気になったとの報告があり、審議の結果、来年度は支部名が入らないように気をつけることとなった。

松永理事より、九都県市合同防災訓練について、本年は泉区支部が担当され、自分も参加してきた、特小の無線機も置いてあったとの報告があった。また、川畑理事より、本番前に 4 回ほど模擬訓練が行われた(予め配布された電文に数字を入れて読む)、区役所では区役所内だけ、拠点では拠点内だけというデモに近い訓練であった、デジタル無線はまったく使用されなかったとの報告があった。

#### 2. 区役所局無線設備の更新状況について

担当の小野理事より、区役所局無線設備の更新状況等について、以下のとおり報告があった。

- ① 区役所局無線設備の更新については、先般、横浜市に対して、老朽化している 5 区(神奈川区、西区、南区、金沢区、戸塚区)の無線設備から更新してほしい旨の要請書を提出した。
- ② 支部によっては 1200MHz を使用していないところもあるが、144MHz/430MHz/

1200MHz の 3 バンドが運用できる環境を整えておくことが大事と考えている。

- ③ 市役所に置いてある IC-970 の保証認定は、市の予算が取れ次第、申請することで準備を進めている。

### 3. 本部主催事業の手配状況について

担当の片山副会長より、本年度に予定している本部主催事業の手配状況について、以下の通り報告があった。

#### ① 防災講演会

青葉区副支部長の上野氏 (NTT 勤務) からは通信のプロとしての内容で、また、私 (片山副会長) からは地域の防災に関する内容で、それぞれ講演することで考えている。なお、会場については、定員 30 名の会議室が予約できているが、参加者はそれ以上になると思われるので、もう少し大きな会議室 (防災センターなどの) を探したい。

#### ② 横浜市危機管理センターの見学会

横浜市からは、APEC 開催の前は不可だが、11 月 16 日以降なら OK との話を聞いているので、来年 1 月中 (ただし、横浜市の都合で平日のみ可) に行くことで調整したい。なお、横浜市では、4 名以上の参加者なら受け付けるとのことであるが、センターの規模から多くても 30 名程度までと考えている。

### 4. 区役所駐車場の有料化について

松永理事より、先日、朝日新聞に記事 (市議会において、河治市議から、9 月上旬に行われた旭区の防災訓練のため無線機を自家用車で運んだ区民が区役所駐車場に 1 時間以上とめたところ、1 時間経過後の駐車料金を徴収されたという指摘があり、それに対して、市民局長が今後は内容に応じて減免措置を考えたいと回答した。) が掲載されたが、これについて当協力会としても何か対応を考えた方がよいのではないかと提案があり、協議の結果、① 今回の市議の指摘に対して市役所からいずれ対応策が出てくると思われるので、その対応策を見てから、当協力会としての対応を考える、② 一方で、各支部長が発行することになっている当協力会の会員証がきちんと発行されているか、各支部長に確認する、こととなった。

### 5. 会員の永年表彰について

斎藤会長より、半田理事から前回の理事会で提案のあった会員の永年表彰に関して、今回の理事会で検討チームを作って検討しては如何かと考えていたところ、今般、同理事から規定の改訂案が提出された、また、会員の永年状況について調べたとこ

ろ、全会員 924 名のうち、30 年以上の会員は 127 名、20～29 年の会員は 93 名、10～19 年の会員は 165 名、10 年未満の会員は 419 名であった、との説明があった。

他の理事から、永年の会員であっても名前だけ登録している状態の人もおり、一律に永年表彰することについてもう少し検討すべきではないか、支部長の推薦があった人だけを対象とする案についても、どうしてもバラツキが出てしまう、当協力会自体に会費がないが、どう工面するのか、等の意見が出され、協議の結果、次回以降の理事会で継続審議をすることとなった。

以 上